

「Chosun Online の記事は1週間で見れなくなりますので、以下のように引用させていただきます、ご紹介します」

朝鮮日報／朝鮮日報日本語版

<http://www.chosunonline.com/news/20091230000006>

●原発輸出:「今回の受注で UAE と 70 年の兄弟に」



韓国電力の金双秀(キム・サンス)社長

写真＝韓国電力「今回の原発受注で韓国とアラブ首長国連邦(UAE)は最低でも“70年の】兄弟”となり、家族のような一つのチームとなりました」

UAE 原子力公社(ENEC)と原発建設契約を結んだ韓国電力の金双秀(キム・サンス)社長は 29 日、「UAE とは原発の建設以外にも、原子力分野での人材育成やインフラの構築、人材交流などにも合意した」と述べた。今回韓電が受注した原発は 4 基で、2020 年までの建設規模だけで 200 億ドル(約 1 兆 8000 億円)に達する。

金社長は「2020 年にこの原発が完成した後も、60 年にわたり実際の運用や核燃料の供給を韓国が中心となって引き受け、200 億ドルの追加の収益と雇用創出効果が予想される」「今後も中東諸国が原発を建設するのであれば、UAE が関連資材を供給する中心的な役割を果たすようになるだろう」と述べた。

さらに「安全性や建設、管理など原子力発電におけるあらゆる分野で約束を履行するとの点を、明快かつ理路整然と UAE 側に説明し、信頼を得ることに力を集中した」「ソウル三成洞の本社地下 2 階にある 445 平方メートルの“ウォールーム”では、80 人以上が寝袋を持ち込んで 11 カ月にわたり昼夜の区別なく総力を挙げて業務に取り組んだ。これも大きな力になった」と語った。

金社長はこれまで現地を5回、実務責任者である辺俊淵(ピョン・ジュンヨン)海外事業本部長は17回訪問し、韓国の能力や技術力などを強調しながら、UAEの心を動かしていったという。

金社長は「今後はUAEに原発の技術や運営のノウハウを徐々に伝え、互いにウィンウィン関係(双方に利益のある関係)を構築できる“百年の知己”になりたい」と述べた。

宋義達(ソン・ウィダル) 記者